

令和4年度指定管理運営業務評価票

|                       |                        |                         |                        |
|-----------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|
| 施設名称：府立江之子島文化芸術創造センター | 指定管理者：enoco 文化創造プロジェクト | 指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日 | 所管課：府民文化部 文化・スポーツ室 文化課 |
|-----------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|

| 評価項目<br>＜評価基準＞   | 評価基準（内容）   | 指定管理者の自己評価   |           | 施設所管課の評価  |   | 評価委員会の<br>指摘・提言   |
|--|--|--|-----------|---|---|---|
|  |  | 評価<br>S～C  | 評価<br>S～C |   |   |   |
| <p>「提案の履行状況に関する項目」</p> <p>(1) 施設の設置目的及び管理運営方針</p> <p>＜評価基準とすべき事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的に沿った運営</li> <li>提案された管理運営方針に沿った管理</li> <li>社会貢献活動、環境活動、法令順守の取組み</li> </ul> | <p>■府立江之子島文化芸術創造センター（以下、「enoco」）の設置目的に基づき、設立背景やこれまでの実績を踏まえた管理運営を遂行し、文化芸術拠点の機能強化を図れているか。</p> <p>■令和4年度の事業計画の管理運営方針のとおり、取り組んでいるか。</p> <p>■運営目標で活動の三本柱として掲げている「現代美術の振興」、「交流・活動・協働機会の創出」、「次世代への継承・発展」に基づいた運営ができていますか。</p> <p>■施設での年間を通しての状況を把握すると共に良好な管理運営がなされているか。また、enoco ならではの場づくりと運用に努め、主体的な創造活動と交流の機会を提供できているか。</p> <p>■enoco の管理運営を通して、社会貢献活動、環境活動、法令順守の取組みができていますか。</p> | <p>■令和4年度から「enoco文化創造プロジェクト」が指定管理者として、enoco 設立の背景やこれまでの実績を踏まえた enoco 独自の管理運営業務を遂行し、文化芸術拠点としての機能強化を図ることで、文化芸術を享受する基盤を拡大し、あらゆる人々が文化を通じて、いきいきと活動できる都市を目指し「現代美術の振興（connection）」、「交流・活動・協働機会の創出（communication）」、「次世代への継承・発展（cocreation）」の3本柱を掲げ、以下の事業を実施してきた。</p> <p>■重点項目について<br/> <b>「現代美術の振興（connection）」</b><br/>                     大阪文化芸術創出プログラム 2022 と連携した「大阪府 20 世紀美術コレクション展」などでの現代美術に関心がない人に関心を持ってもらえるようなコレクション活用や芸術やアートが都市の再生や復興にあたる影響など今までと違った切り口のトークイベントや展示を実施。</p> <p><b>「交流・活動・協働機会の創出（communication）」</b><br/>                     “音楽”を切り口にするなど話題性を持たせ、マスメディアと連携したイベントの告知や enoco の活動をよりたくさんの人に知ってもらう広報活動を行うとともに「アーティスト・イン・レジデンス」や他地域で開催されているアートイベントなどに出席するなどアウトリーチ活動を通じて若手アーティストの創作活動の支援や交流を深める事業を実施。</p> <p><b>「次世代への継承・発展（cocreation）」</b><br/>                     コロナ禍の中“集客”を目指すだけでなく ICT を活用した配信事業や子ども向けの体験教室、大学など学校団体との連携などを通じて次世代への継承・発展を目指す事業を実施。</p> <p>■新たな施設運用展開<br/> <b>「こどもの居場所づくり」</b><br/>                     社会問題となっているこどもの居場所づくりの enoco 流の取り組みとして「アートな自習室 こども meet room」を実施。稼働の少ない貸室の利用率の向上と子どもたちが“アート”に触れ合う機会を創出。</p> | A         | <p>・センター設立の背景やこれまでの実績を踏まえ、文化芸術拠点の機能強化を目指した事業計画のもと、運営を行っている。また、今年度より現代美術に関心がない人に関心を持ってもらえるよう、他の分野とのコラボレーションをするなど、新たな取り組みを推進している。</p> | A | <p>・10年後20年後の enoco のあり方について、大阪府が持つ理念と、現指定管理者が実施する事業で整合性が図れるよう、府と指定管理者で十分にコミュニケーションをとって、運営にあたっていただきたい。</p> <p>・指定管理期間の初年度であり、今年度の取組みを精査し、改善しながら取り組んでいただきたい。</p> |
| <p>(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果</p> <p>＜評価基準とすべき事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公平なサービス提供、対応</li> <li>障がい者・高齢者等への配慮</li> </ul>   | <p>■enoco 利用者が公平に利用できるように、内規やマニュアルを整備し、適正に運営を行っているか。</p> <p>■障がい者、高齢者等に対する配慮や利用援助が適切になされているか。</p>  | <p>・職員については、集合型研修や継続雇用者から OJT 研修を実施するとともに、今までの利用規定やマニュアルを見直し、過去の慣習にとらわれず利用者が公平に利用できるように努めるとともに定期的にご利用いただいている方には見直し内容を丁寧に説明し理解を得るなど、公平公正な施設運営に努めた。</p> <p>・障がい者、高齢者等に対しても、丁寧な対応を行い、利用しやすい施設運営に努めている。</p>  | S         | <p>・貸室利用規程の運用の見直しを図ると共に、職場研修を実施し、障がい者や高齢者に対して適切な対応ができるように努めている。</p>   | A |   |

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| <p>(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者増加のための工夫</li> <li>・利用者数</li> <li>・利用者満足度調査結果（総合満足度の前回調査との比較等）</li> </ul> | <p>■主催事業及び貸館事業において、これまで enoco を利用していなかった人たちに、新たに enoco を利用していただけるような運営を行っているか。</p> <p>■センターの利用者が増加するような取り組みを行っているか。</p> <p>■enoco の認知度向上及び利用者増加のために、ホームページ・SNS・紙媒体等の様々な媒体を使用し、ユーザー層を鑑みた効果的な広報ができていますか。</p> <p>■誰にでも分かりやすい言葉を用いた広報に努めているか。</p> <p><b>【目標値】</b></p> <p>&lt;利用者関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇来館者数延べ 100,000 人 (78,000 人)</li> <li>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 700 件 (520 件)</li> <li>◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 220 件 (200 件)</li> </ul> <p>※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた場合は、( ) 内の昨年度実績相当を目標値とする</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;参考&gt;令和3年度実績（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇来館者数延べ 77,418 人 (97,000 人)</li> <li>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 519 件 (680 件)</li> <li>◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 205 件 (180 件)</li> </ul> </div> <p>&lt;貸館関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇多目的ルーム1～4（展示室）貸館利用率 目標 50%</li> <li>◇多目的ルーム5～12（クリエイティブルーム・シェアルーム含む）貸館利用率 目標 60%</li> </ul> | <p>・11月 enoco 情報紙「創刊号1」を発行し、大阪府の施設、プレス720社に送付した。また、HP上で閲覧できるように対応し、11月センターHP平均ページプレビュー時間（一人がHPを見ている時間）が約4分40秒と非常に高い数字を獲得し広く enoco がアピールできた。</p> <p>・マスメディアとの連携</p> <p>enoco 認知度向上の施策として</p> <p>立川直樹名誉館長の「ジョン・レノン追悼 SUPER AUDIO LIVE」FM COCOLO と連携。立川名誉館長の出演ラジオ番組、ラジオスポット、HPで告知した。30名の定員に対して応募総数が416名もあった。当日の参加者も、初めて enoco を知った方が殆どで非常に効果的なPRができて、音楽を通じた新しいアートなイベントを実施することができた。</p> <p>・事業実施の際には、ターゲットを絞り SNS 等を活用し告知を行っている。Instagram は若い世代(10～30代)、facebook は(40～60代)をターゲットとし、網羅的に事業実施の際に、告知を行っている。また、instagramのストーリーを投稿する際は、各事業で主にターゲットにしている年代が、目にしやすい時間帯をねらいアップロードを行っている。また、フレッシュさを保つ為、事業中や実施終了後にもこまめに投稿を行うようにしている。特に海外でも需要の多い instagram では、アプリを立ち上げ、最初に見える9面の構成バランスを考え、投稿専用のデザインも考慮し、人の目につきやすい仕組みと仕掛けに取り組んでいる。</p> <p>主催事業に関しては、ArtSticker や AIR_J、KACCO、こどもお出かけ情報コーナーなどのメールニュースや各自主事業に適した総合サイトへの依頼を行い新たな客層への宣伝・告知も行っている。</p> <p>また、障がいのある方々へも当館へ来所していただくために、事業実施の案内などを各福祉施設へ送付している。</p> <p>例：奈良たんぼの家、Good job Center、pallet など。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪文化芸術創出プログラム2022の「「1970：2025 過去と現代の対話展」を360度カメラで収録しFacebookに投稿し期間中これまでと違うアプローチをした。</li> <li>・こどもアート学科2022、こども meet room の告知媒体として大阪市西区広報紙「かぜ」で募集告知 2021年1月のこどもアート学科2022参加者2名、「かぜ」を見ての申込があった。</li> </ul> <p><b>【実績値】</b>12月末現在（ ）内は、目標値</p> <p>&lt;利用者関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇来館者数延べ 65,275 人 (100,000 人) 達成率：65%</li> <li>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 470 件 (700 件) 達成率：67.1%</li> <li>◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 47 件 (220 件) 達成率：21.4%</li> </ul> <p>&lt;貸館関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇多目的ルーム1～4（展示室）貸館利用率 72.0% (50%)</li> <li>◇多目的ルーム5～12（クリエイティブルーム・シェアルーム含む）貸館利用率 60.7% (60%)</li> </ul> | <p style="text-align: center;">A</p> <p>・利用者の増加を図るため、音楽イベントの実施や、事業告知をFMラジオと連携するなど、これまでになかったことに取り組んだ。</p> <p>&lt;利用者関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「来館者数」「文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数」は、目標値をやや下回っている。「enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数」については、目標値を大きく下回っている。今後実施する事業において、来館者数等の増加に繋がるよう、効果的な広報を行いより魅力ある事業内容としていただきたい。</li> </ul> <p>&lt;貸館関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館利用率については、通年ベースであると目標値を上回っている。特に多目的ルーム1～4の利用については、好調である。</li> </ul> | <p style="text-align: center;">B</p> <p>・アンケート結果も活用し、来館者のバックグラウンドなどを分析するなど、目標値が達成できていない部分の改善方法を検討するとともに、次年度の改善に取り組んでいただきたい。</p> <p>・今までと違う広報力を期待していたが、やや不足しているように感じる。enoco の認知度向上は重要であり、現指定管理者の管理期間のみならず、その後も拡がっていくよう、工夫していただきたい。</p> |
|---|---|---|---|---|

<参考>令和3年度実績(目標)

- ◇多目的ルーム1～4(展示室)貸館利用率 46.5%(50%)
- ◇多目的ルーム5～12(クリエイティブルーム・シェアルーム含む)貸館利用率 50.4%(60%)

<利用者満足度調査(アンケート)関連>

- ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数100以上。  
アンケートの結果 プラス評価80%以上。
- ◇貸館関連アンケート有効回答数80以上。  
アンケートの結果 プラス評価80%以上。
- ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数参加者の8割以上。アンケートの結果 プラス評価80%以上

<参考>令和3年度実績(目標)

- ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 96(100)
- ◇貸館関連アンケート有効回答数 78(50)
- ◇その他主催イベント等アンケート有効回答数 24(-)

<認知度向上(広報)関連>

- ◇webサイト全体の総セッション数88,000回/年
- ◇メールニュース配信者数 2,500件(者)
- ◇Facebookのフォロワー数 3,700件
- ◇Twitterのフォロワー数 2,200件
- ◇Instagramのフォロワー数 1,300件
- ◇SNS配信回数 20回/年(イベントのPRは別途実施)
- ◇メディア(WEB含む掲載数) 130媒体以上/年

<参考>令和3年度実績(目標)

- ◇webサイト全体の総セッション数 58,601回/年(80,000)
- ◇メールニュース配信者数 2,274件(2,500)
- ◇Facebookのフォロワー数 3,481件(3,500)
- ◇Twitterのフォロワー数 1,909件(-)
- ◇Instagramのフォロワー数 1,112件(-)
- ◇メディア(WEB含む掲載数) 63媒体/年(120)

<利用者満足度調査(アンケート)関連>

- ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数214(100以上)達成率:214%  
アンケートの結果 プラス評価93.4%(80%以上)
- ◇貸館関連アンケート有効回答数82(80以上)達成率:103%  
アンケートの結果 プラス評価95.9%(80%以上)
- ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数63%(参加者の8割以上)  
アンケートの結果 プラス評価87%(80%以上)

<認知度向上(広報)関連>

- ◇webサイト全体の総セッション数 累計73,626回(88,000回) 達成率:83.7%
- ◇メールニュース配信者数 平均2,287件(2,500件)達成率:91.5%
- ◇Facebookのフォロワー数 平均3,442件(3,700件)達成率:93.0%
- ◇Twitterのフォロワー数 平均1,960件(2,200件)達成率:89.1%
- ◇Instagramのフォロワー数 平均1,235件(1,300件)達成率:95.0%
- ◇SNS配信回数 累計37回(20回/年(イベントのPRは別途実施)) 達成率:185%
- ◇メディア(WEB含む掲載数) 累計72媒体(130媒体以上)達成率:55.4%

<利用者満足度調査(アンケート)関連>

- ・「主催展覧会関連アンケート」「貸館関連アンケート」については有効回答数、プラス評価ともに目標値を上回っている。「子どもを対象としたイベント関連アンケート」については、有効回答数は目標値を下回っているが、プラス評価については、上回っている。「子どもを対象としたイベント関連アンケート」については、アンケートの実施方法などを再度検討いただきたい。

<認知度向上(広報)関連>

- ・「webサイト全体の総セッション数」は、通年ベースであると目標値を上回っている。
- ・「メールニュース配信者数」「Facebookのフォロワー数」「Twitterのフォロワー数」「Instagramのフォロワー数」は、目標値をやや下回っているが、概ね昨年度実績と同様の数値となっている。
- ・「SNS配信回数」については、目標値を上回っている。
- ・「メディア掲載数」については、目標値を下回っているが、現時点で昨年度実績を上回っている。

|  |   |   |  |   |  |
|--|---|---|--|---|--|
|  | <p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魅力的なプログラムの開発</li> <li>接遇研修実施回数・参加者数</li> <li>提案された利用時間延長等の実施状況</li> </ul> | <p>「現代美術の振興」</p> <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■コレクションの内容に精通した学芸員を配置し、作品の適切な管理を行っているか。また、展示・貸出の際は、作品保護についても考慮し、展示・貸出を行っているか。</li> <li>■コレクションについて、定期的に点検・清掃を行い、修復等が必要な場合は記録及び報告を行っているか。</li> <li>■コレクションについて、順次、現物と台帳の確認を行い、破損等について記録及び報告を行っているか。</li> </ul> <p>【目標値（コレクション保管・管理関連）】</p> <p>◇コレクションの現物と台帳の確認 1,000 点/年</p> <p>《コレクションの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■美術館・大学・地域・産業界等と連携し、様々な場所での展示機会を創出し、コレクションを活用しているか。</li> <li>■enoco 内での展示をはじめ、府関連施設・美術館・公共施設・民間企業等の多くの人々が利用する場所にコレクションを貸し出し、府民にコレクションの鑑賞機会を提供できているか。</li> <li>■WEB での動画配信など、ICT を活用した新たな鑑賞方法の導入や、学校等での対話型鑑賞会等、様々な手法を用いてコレクションを活用できているか。</li> <li>■展示作品等、活用の状況を enoco ホームページ等で発信できているか。</li> <li>■これまでに展示や貸出を行ったことがないコレクションを積極的に活用できているか。</li> </ul> | <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管する美術コレクションに保険をかけ、適切な保管・管理に努めている。美術コレクションの内容に精通した学芸員を常勤2名配置するとともに、非常勤でコレクションの管理等に過去にかかわり、経緯の解る学芸員を配置し点検、清掃、修復など指導を仰いでいる。</li> <li>・展示・貸出しの際には、展示条件を確認する等、作品保護についても考慮している。</li> <li>・長期貸出作品の状態確認を実施 大阪国際がんセンターなど</li> <li>・外部貸出作品の修復対応も行っている。</li> <li>・コレクションの現物と台帳の確認の際は、記録や報告を適正に行っている。</li> </ul> <p>【実績値（コレクション保管・管理関連）】12月末現在（（）内は、目標値）</p> <p>◇コレクションの現物と台帳の確認 365 点（1,000 点）達成率：36.5%</p> <p>《コレクションの活用》</p> <p>◇外部貸出（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本生命病院において、コレクションを常時展示。<br/>コレクション作品展示数：常時2点(年4回展示替え)</li> <li>・ANA 大阪国際空港(伊丹空港)にコレクションを常時展示。<br/>コレクション作品数：常時6点(年4回展示替え)</li> <li>・大阪国際がんセンターと連携し、「アートな病院プロジェクト」と位置づけ、院内における美術コレクションの管理や掛け替え、案内パンフレットの制作等を実施。がんセンターの要望に決め細かに応えることで、貸し出しの長期継続化に努めている。<br/>コレクション作品数：106 点(R4.12 末現在)</li> <li>・株式会社大洋工芸/初田製作所に作品を常時展示。<br/>コレクション作品数：常時5点(年2回展示替え)</li> <li>・その他、ホテル・府立施設・府庁内等に展示</li> </ul> <p>◇外部貸出（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪ろうさい病院において、コレクションを常時展示。<br/>コレクション作品展示数：常時8点</li> </ul> <p>◇他施設展覧会・イベント等への貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月-9月開催 千葉市美術館 9点貸出</li> <li>・4月-7月開催 大阪中之島美術館 13点貸出</li> <li>・7月-9月開催 京都国立近代美術館 9点貸出</li> <li>・8月-10月開催 大阪中之島美術館 1点貸出</li> <li>・10月-11月開催 たつの市室津海駅館 6点貸出</li> <li>・10月開催 大阪文化芸術創出プログラム 2022 における万博記念公園「EXPO PARK ART&amp;MUSIC WEEKEND」での「アートから読み解く1970年代(70年代アートの室内展示)」 16点貸出。</li> <li>・11月開催 寝屋川市立市民ギャラリー 30点貸出<br/>寝屋川文化芸術祭実行委員会主催の「寝屋川文化芸術祭」に大阪府20世紀美術コレクションを展示することで、寝屋川市民に本物の美術作品を「見る」機会を創出することができた</li> </ul> <p>◇enoco HP、Youtube チャンネル コンテンツの充実</p> <p>以下の取組みを前指定管理者が実施している内容を継承・発展させながら、取り組んだ。</p> <p>HP では、定期的に展示替えを行っている館内ギャラリーの作品を紹介している。また、「enoco オープンアトリエ 2022 GW」の展示作品をテレワークのテレビ会議、Web ミーティング用にバーチャル背景画像（壁紙）として掲載し広くコレクション活用をしている。</p> <p>Youtube では、大阪府20世紀美術コレクションの主要な作家「こどもアート学科2(5ヶ月の絵日記箱)」で伊藤継郎作品52作品「現代美術の回廊コア(COAO)」では、齋藤真成作品11点、津高和一作品13点を紹介し質の高いアートな作品を鑑賞体験して頂く機会を提供している。</p> | <p>B</p> <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクションについて、適切な保管・管理に努めている。空調等の運転状況などについても、適正に報告を行っている。また、コレクションの現物と台帳の確認については、目標値を下回っている。次年度以降は計画的に、文化課と協議を行いながら、適正に進めていただきたい。</li> </ul> <p>《コレクションの活用》</p> <p>◇外部貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの貸出先での展示の継続とともに、新たな貸出先も増加している。また、大阪中之島美術館の開館記念展での展示や、千葉市美術館、京都国立近代美術館での大型立体作品の展示、寝屋川文化芸術祭での多岐に渡るジャンルのコレクションが展示されるなど、様々な施設での府所蔵コレクションの展示が実現し、府内外においてコレクションの鑑賞機会を提供できている。</li> </ul> | <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクションは、府民の大切な資産であるので、現物と台帳の確認について、指定管理者と府で十分コミュニケーションをとって、取り組んでいただきたい。</li> <li>・コレクションについて、記録を残しておくことが大切であり、指定管理者が代わっても、その情報の管理と経過が継承されるよう取り組んでいただきたい。</li> </ul> |
|--|---|---|--|---|--|

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  | <p>【目標値（コレクション活用関連）】</p> <p>◇活用点数 1,000 点以上</p> <p>◇企画展 2 回以上/年</p>  | <p>◇主催企画展</p> <p>2022 年 4 月 26 日から 5 月 7 日大阪府 20 世紀美術コレクション 「enoco オープンアトリエ 2022 GW」を開催 展示作品 40 点</p> <p>2022 年 11 月 5 日から 19 日「1970：2025 過去と現代の対話展」～大阪府 20 世紀美術コレクション展～を開催 展示作品 24 点</p> <p>【実績値（コレクション活用関連）】12 月末現在（ ）内は、目標値）</p> <p>◇活用点数 881 点（1,000 点以上） 達成率：88.1%</p> <p>◇企画展 2 回（2 回以上）</p> <p>【今年度末までの活用予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪国際がんセンター展示替え、enoco 主催企画展「音楽でたどる大阪府 20 世紀美術コレクション（仮題）」、大阪府主催「大阪アートフェスティバル」など 約 160 点活用予定</li> </ul> <p>・その他現代美術の振興事業として、2022 年 12 月 16 日に「都市は文化（アート）でよみがえる」では、（話し手）大林剛郎大林組会長、（聞き手）美術家の中島麦氏を迎えてトークイベントを実施した。</p> <p>参加者 12 名 生配信視聴者数 23 名<br/>配信動画視聴回数 1114 回（1 月 14 日現在）</p>   | <p>◇主催企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「enoco こどもアート学科 2021 作品展」では、前指定管理者から引継ぎ、春休み期間まで会期を延長することで多くの子どもたちにも鑑賞してもらえる機会を提供している。</li> <li>「enoco オープンアトリエ 2022 GW」では、作品の鑑賞だけでなく、来場者が塗り絵や模写などの創作体験をしていただくことができています。</li> <li>「1970：2025 過去と現代の対話展」では、大阪文化芸術プログラム（大阪文化芸術フェス）と連携し実施している。</li> <li>3 月には、「音楽でたどる大阪府 20 世紀美術コレクション（仮題）」で音楽と府所蔵コレクションをテーマにした展覧会を実施予定している。</li> <li>来年度も新たな視点の企画展を開催するなど、より積極的な活用に努めていただきたい。</li> </ul> <p>・活用点数については、目標値を上回る見込みである。また、企画展実施については、目標値を上回っている。</p> <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トークイベント「都市は文化（アート）でよみがえる」では、現代美術について造詣の深いゲストを招き、府民の方に enoco で観覧していただくと共に、YouTube で配信することで、より多くの方にご視聴いただけている。</li> </ul> <p>今後も、こうしたイベントの開催等を通じ、運営目標の 1 つである現代美術の振興に努めていただきたい。</p> |  |
|  | <p>「交流・活動・協働機会の創出」</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多目的ルームの貸出しにあたり、多様なニーズに対応し、質の高いサービスの提供に努めているか。</li> <li>割引サービスなども含め、わかりやすい募集チラシの作成、発信や、SNS 広告等の活用等、戦略的な広報を行い、新規利用者の開拓を含め、幅広い層が利用できるよう促進に努めているか。</li> <li>適正な減免を行っているか。</li> </ul> | <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多目的ルームの貸出については、多様なニーズに対応し新規の顧客開拓につなげるため「若年層割引」を実施している。また、一般利用者のイベント、展覧会スケジュールを HP に、展示会の様子を Instagram にそれぞれ紹介し広報宣伝に協力をしている。また、メールニュースを月 1 回発行（配信者数約 2000 件/月）イベントや貸館利用について紹介をしている。</li> <li>利用者に気持ちよく利用して頂けるよう、頂いた意見を都度検討しながら出来る範囲で柔軟に対応するよう努めている。</li> </ul> <p>例：貸出備品や展示室搬入時における柔軟な対応など<br/>また、施設内での情報共有を密に行い、どのスタッフでも不足なくスムーズに対応ができるよう日々の引継ぎやご案内内容の統一に努めている。</p> <p>例：申し送り用に slack のアプリを活用し、利用者さまそれぞれの対応方法の共有や前日の申し送りなどをきめ細やかに行っている。</p> <p>今期、新しく導入した Air リザーブにより、利用者に対応する際に、検索・発見の精度が上がり、従来の待ち時間が短くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チラシやフライヤーのデザインは、デザイナーに外注すること無く、担当スタッフが各事業にあった書体や色彩、構成に気を使い、①どの客層に当てたデザインか ②たくさん配置されるデザインの中で手にとってもらうための工夫 ③紙の一つにもこだわりを持った印刷会社の選択などで、細やかなこだわりを持ち、実践をしている。</li> <li>新規利用者には、HP での文化・芸術相談窓口「エノコンシェルジュ～そうだ enoco に聞いてみよう～」の分かりやすい相談フォームにより問い合わせがしやすい環境を整えている。</li> <li>展示会場の探索、イベントの企画、講座・教室の開催における提案、専門家</li> </ul> | <p>A</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者交代にあたり、利用者に混乱がないよう、適宜利用者への説明等を行うなど、適切に対応している。また、貸室の利用率も高い水準となった。</li> <li>メールニュースや SNS の配信を行い、貸室の利用を促進するなど、幅広い層が利用できるよう努めている。</li> <li>利用料の減免については、審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価して、不平等な取扱いがないように適切に運営している。</li> </ul>  | <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主催事業で採用されている講師について、指定管理者に所属するタレントにとどまらず、より幅広いアーティストが参画するよう検討してはどうか。</li> <li>enoco で様々な活動をされている方に、交流や協働機会をより一層、創出するため、他の展覧会や、enoco 主催事業にも来館してもらえよう、情報を発信するなど工夫してはどうか。</li> </ul> |

|  |  |   |  |  |
|--|--|---|--|--|
|  | <p>や大学、スタジオなどの紹介、広報をおこなう上でのポイントや各依頼場所についてなど、幅広い相談へ対応できるよう柔軟に取り組んでいる。<br/>例：高校での文化祭でおこなう地域住民向けワークショップの開催におけるフィールドリサーチを含めた内容の提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館における利用料の減免については、館内に審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価して厳正に審査を行った。<br/>全額減免 1件<br/>大阪特別支援教育諸学校造形教育研究会 2023/8/1-6<br/>半額減免 2件<br/>大阪府福祉部高齢介護室介護支援課 2023/6/20-25<br/>大阪市中学校文化連盟 2023/9/19-24</li> <li>・シェアオフィスの利用率は100%で推移している。</li> </ul> <p>《交流・活動・協働の拠点づくりに関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■設立から10年で培ったネットワークを引継ぐとともに、新たな文化関係機関等とのネットワークの構築・連携ができています。</li> <li>■幅広い文化芸術に関する情報収集・発信ができています。</li> <li>■多様な人・組織、府内市町村等からの文化芸術に関する相談に対し、アドバイスや情報提供等を行うワンストップ窓口を設置し、適切に運用できているか。また、ワンストップ窓口に関して、効果的な周知・広報ができています。</li> <li>■コロナ禍への対応を行いながら、フリースペース利用したイベントの実施やライブラリーの活用ができています。</li> <li>■センター周辺の地域と連携しながら、地域に開かれた施設となり、住民に身近に感じられる施設運営ができています。</li> <li>■enocoのファンづくりに努めているか。</li> <li>■幅広いアーティスト等が活躍できる場を提供するとともに、連携を図れているか。</li> </ul> | <p>や大学、スタジオなどの紹介、広報をおこなう上でのポイントや各依頼場所についてなど、幅広い相談へ対応できるよう柔軟に取り組んでいる。<br/>例：高校での文化祭でおこなう地域住民向けワークショップの開催におけるフィールドリサーチを含めた内容の提案。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館における利用料の減免については、館内に審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価して厳正に審査を行った。<br/>全額減免 1件<br/>大阪特別支援教育諸学校造形教育研究会 2023/8/1-6<br/>半額減免 2件<br/>大阪府福祉部高齢介護室介護支援課 2023/6/20-25<br/>大阪市中学校文化連盟 2023/9/19-24</li> <li>・シェアオフィスの利用率は100%で推移している。</li> </ul> <p>《交流・活動・協働の拠点づくりに関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嵯峨美術大学安斎教授ゼミにおいて12月16日「都市は文化(アート)でよみがえる」大林剛郎大林組会長トークイベントのenocoYouTubeチャンネル生配信を授業の一環として学生が視聴し、レポート提出を行った。今回イベント終了後、18名の学生からレポートが提出され、「現代アートの良さが理解できた」などの意見を聞くことができた。今後「コレクションを題材に芸術に関する研究」などで連携を図っていきたいと考えている。</li> <li>・京都国際映画祭との連携<br/>映画のみならずアート、パフォーマンス、工芸、演芸なども対象とし毎年開催されている京都国際映画祭の一環で行われた「たいぞう×佐藤紘子」の作品展の中で連携。10月16日に開催されたイベント「たいぞう enocoの塗り絵+茶道体験/佐藤紘子のワークショップ」(からすま京都ホテル3階)では、たいぞうがenocoの事業で制作した塗り絵を基にしたワークショップを実施。</li> <li>・11月enoco情報紙「創刊号1」を発行<br/>HPでの閲覧により幅広く活動を発信することができた<br/>今期中に「2号」を発行予定</li> <li>・HPに文化・芸術相談窓口「エノコンシェルジュ〜そうだenocoに聞いてみよう〜」を設置しアートだけにとらわれず文化芸術を通して地域活性化やまちの魅力づくりなど様々な課題解決に取り組んでおられる方々にenocoのスタッフや関係者がアドバイザーとなって解決のヒントや課題解決に向けたアドバイスをを行うとともに関係団体へつなぐ相談事業を展開した。<br/>実績)大阪府立高校生からの相談<br/>内容:「高校と地域の、お互いを知る機会創出」<br/>高校と地域をコンセプトとした課外活動のアートイベント/ワークショップを校内喫茶店で開催する相談。当センターにおいて面談し対応予定<br/>実績)万博記念公園からの相談<br/>内容:「作品の修復について」<br/>万博記念公園指定管理者の自主事業として近畿大学芸術学科、文化デザイン学科との取り組み「ART REBUILD」の一環としてアート作品の修復についての修復家の講演依頼を受け修復家を紹介。</li> <li>・フリースペースの活用<br/>5月 enocoの塗り絵を設置<br/>10月 江之子島の歴史とenocoの紹介動画を流したモニター設置<br/>11月 enocoの塗り絵の新作を追加設置<br/>12月8日 立川直樹名誉館長の音楽イベント「ジョン・レノン追悼 SUPER AUDIO LIVE」を実施</li> <li>・新たな施設運用展開<br/>「アートな自習室 こどもmeet room」<br/>稼働の少ない多目的ルームをこどもたちの居場所作りの為に活用した。土日自習室として無料で提供<br/>アートに関しての書籍、施設内備品(折紙・スケッチブック・色鉛筆等)も無料で貸し出し、アートに触れ合う機会とした。</li> </ul> | <p>《交流・活動・協働の拠点づくりに関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向けワークショップにおいて、昨年度招聘したアーティストを引続き講師に招聘するなど、これまでのネットワークを引き継ぐとともに、新たな機関とも連携ができています。引き続きこれまでのネットワークの繋がりを継続するとともに、新たな機関との連携に努めていただきたい。</li> <li>・enoco情報紙については、デザインを刷新したものの、誤字が見られた。今後発行に際しては、十分なチェックを行うと共に内容の充実に努めていただきたい。</li> <li>・ワンストップ窓口については、設置できているが、相談件数が少なかったため、一層の周知に努めていただきたい。</li> <li>・フリースペースの利用については、音楽イベントを実施したり、使用頻度の少ない貸室の開放事業を実施する等、新たな取り組みができています。</li> <li>・地域との連携については、隣接する日本生命病院、近隣小学校、西大阪治水事務所等との連携に取り組んでいる。</li> <li>・enocoのファンをつくるため、今年度は、enocoの施設外でワークショップを開催するなど新たな取り組みができています。</li> <li>・幅広いアーティスト等が活躍できる場を提供するため、アーティストインレジデンスの実施や、ワークショップに新たな講師を招聘するなど取り組んでいる。</li> </ul> |  |
|--|--|---|--|--|

|  |   |   |  |   |   |   |  |
|--|---|---|--|---|---|---|--|
|  |   |   | <p>・センター周辺の地域との連携<br/>隣接する日本生命病院において、コレクションを常時展示。<br/>コレクション作品展示数：常時2点(年4回展示替え)<br/>広教連合振興町会への参加<br/>西大阪治水事務所との連携<br/>西大阪治水事務所管理施設(広場)「トコトコダンダン」活用及び近隣施設や地域の子どもたちと連携したイベント開催の検討</p> <p>・enoco のファンづくり<br/>以下のような連携や、これまでになかった事業を実施し、これまで enoco を認知していなかった人にも enoco を認知してもらえるように取り組んだ。<br/>「大阪文化芸術創出プログラム 2022」との連携<br/>万博記念公園で開催された「EXPO PARKART&amp;MUSIC WEEKEND」の会場に「enoco」ブースを展開し下記ワークショップや enoco の歴史を VTR に纏め紹介するなどプロモーション活動を実施。<br/>10月29日 似顔絵イラストワークショップ<br/>イラストが得意なよしもと芸人森本大百科による似顔絵イラストを楽しく学べるワークショップ<br/>参加人数；27名<br/>10月30日 変身フィギュアな絵を描こう<br/>アーティスト松浦知子による絵と立体を組み合わせた作品を制作<br/>参加人数；29名<br/>「広報広聴課 府政学習会」との連携<br/>11月5日 府政学習会 in enoco<br/>大阪府の庁舎や施設を見学するとともに、府の施策や取り組みについて知って頂く「府政学習会」において、子ども対象に enoco の館内見学とワークショップを開催<br/>館内での大阪文化芸術創出プログラム 2022 展「大阪府 20 世紀美術コレクション展」「ライブペイント作品展」を見学<br/>ワークショップでは、野原万里絵講師による思い出の絵や写真を飾るためのオリジナル額縁をダンボール板で作成<br/>参加人数；20名<br/>「障がい福祉室 第19回ともに生きる障がい者展」との連携<br/>11月19日 障がい福祉室主催「第19回ともに生きる障がい者展」(堺市ビック・アイにて開催)で enoco 出張ワークショップ「Satoly Workshop～さわってわかるアート教室～」を実施。熱によってインクが膨らむ「もこもこペン」を使って絵を描き、参加者が笑顔になるものを制作し、30名の定員も開始後すぐに達した。<br/>「enoco 認知度向上の施策としてマスメディア」との連携<br/>12月8日 立川直樹名誉館長の「ジョン・レノン追悼 SUPER AUDIO LIVE」FM COCOLO と連携した。立川名誉館長の出演ラジオ番組、ラジオスポット、HPで告知した。(再掲)<br/>30名の定員に対して応募総数が416名もあった。<br/>当日の参加者も、初めて enoco を知った方が殆どで非常に効果的な広報ができた。</p> <p>・アーティスト・イン・レジデンス (ESSAP) の開催<br/>ENOCO SHORT STAY PROGRAM を新規事業として実施<br/>2023年2月より若手アーティストに多目的ルームをスタジオとして貸し出し、創作活動の支援を行う事業。若手アーティストが大阪で活動をおこなう上でのきっかけづくりや人にとってアートが身近なものであることを体感してもらうことを目的とした。</p> |   |   |   |  |
|  | <p>「次世代への継承・発展」<br/>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》<br/>■子ども向けの教室やワークショップを実施し、子どもや学生が文化芸術に関心を持つ機会の提供ができているか。<br/>■若手アーティストや地域の子どもたちと連携し、センター内に留まらず江之子島周辺で文化芸術に関する取り組みができているか。</p> | <p>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》<br/>・enoco での子ども向けワークショップ<br/>4月26日-5月7日「enoco オープンアトリエ 2022GW」<br/>大阪府 20 世紀美術コレクションを展示し、子どもが自由にぬり絵や模写を楽しんだ。 来場者 480人(大人含む)<br/>5月1日「たいぞうワークショップ」参加者；大人22名 子ども22名<br/>(「enoco オープンアトリエ 2022GW」内で開催)<br/>7月23日「女と男 ワダちゃんの消しゴムはんこワークショップ」<br/>参加者；大人2名 子ども17名<br/>◎こどもアート学科 2022<br/>enoco では、2018年度から、こどもたちの表現力と創造力を育むことを目</p> | A  | A | <p>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》<br/>・「enoco オープンアトリエ 2022 GW」「こどもアート学科」「府政学習会」「ともに生きる障がい者展」等のイベントを実施できている。<br/>・江之子島周辺での取り組みとして、西大阪治水事務所や地域と連携し、子どもたちが参加する事業の実現に向けて調整している。</p> | A | <p>・子ども向けのワークショップや若手アーティストとの連携など、次世代育成について、どこまで広くアクセスしていくのかなどについても、今後、検討しながら取り組まれない。</p> |

|  |  |  |   |   |  |  |  |
|--|--|--|---|---|--|--|--|
|  |  | <p>的に、小学生を対象としたアートプログラム「こどもアート学科」を実施し、楽しく美術を学ぶ取り組みを行っている。2022年度は、佃七緒（造形）、川口奈々子（絵画）、Yukawa-Nakayasu（造形）、東明（造形）の4名のアーティストを講師として招き、作家独自の思考にふれ、多様な表現、素材、技法を学びながら、表現力と創造力を育むプログラムを実施。全4回のプログラム終了後は、こどもたちの創造力豊かな作品の発表の場として、3月「こどもアート学科 2022 作品展」（仮称）を開催予定。</p> <p>今年度参加人数<br/> 10月9日「好きなものをいろんなかたちや色で包もう！」；10名<br/> 12月11日「チョキチョキペタペタ・いろんなものをくっつけて！コラージュ絵本を作ろう」；22名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月9日 講師：佃七緒先生回参加者10名のうち8名が12月11日 講師：川口奈々子先生回に応募。80%のリピート率と、前回参加者のうち3名が口コミにより友達・兄弟に今回の参加を増やした。驚異的なリピート率でプログラムの満足度が高いことが伺える。</li> <li>・子ども向けの教室やワークショップ参加者に新オリジナル「enoco 自由帳」を配布し enoco ファンづくりに繋げるツールとして活用している。</li> <li>・地下フリースペースに「enoco 塗り絵」を設置<br/> たいぞうや、森本大百科のオリジナル塗り絵で来館の子どもたちにアートに触れ合う機会を創出した。</li> <li>・「enoco オープンアトリエ 2022GW」において、近隣の子どもたちによるイベント広報チラシ作成などを実施</li> <li>・府政学習会 in enoco（広報広聴課との連携）（再掲）<br/> 大阪府の庁舎や施設を見学するとともに、府の施策や取り組みについて知って頂く「府政学習会」において、子ども対象に enoco の館内見学とワークショップを開催</li> <li>・「障がい福祉室 第19回ともに生きる障がい者展」との連携（再掲）<br/> 障がい福祉室主催「第19回ともに生きる障がい者展」（堺市ビック・アイにて開催）で enoco 出張ワークショップ「Satoly Workshop～さわってわかるアート教室～」を実施。</li> <li>・西大阪治水事務所管理施設（広場）「トコトコダンダン」活用及び近隣施設や地域の子どもたちと連携したイベント開催の検討（再掲）</li> </ul> <p>【今後開催予定の事業】<br/> ◆こどもアート学科<br/> 1月「日光で染めるオリジナル柄バック」（Yukawa-Nakayasu）<br/> 2月「自身を飾る服工作」（東明）<br/> 3月 作品展</p> <p>《enoco の歴史を次世代に継承する事業》<br/> ・「大型モニターの設置」<br/> 地域の方々が多く集まる地下カフェ横スペースに60インチの大型モニターを設置し、江之子島周辺地域の歴史や開催イベントを放映し紹介し、来館する子どもたちに江之子島の歴史に触れる機会を創出した。</p> <p>【実績値（次世代への継承・発展関連）】12月末現在（（）内は、目標値）<br/> ◇子どもたちを対象にしたイベント7回（5回以上）達成率：140%<br/> ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数 63%（参加者の8割以上） アンケートの結果 プラス評価 87%（80%以上）（再掲）</p> |   |   | <p>《enoco の歴史を次世代に継承する事業》<br/> ・フリースペースにモニターを設置し、江之子島の歴史を紹介するなどの取り組みを行っている。今後は、講座等の開催も検討されたい。</p> <p>【目標値について】<br/> ・子どもを対象としたイベント開催回数は目標値を上回っている。「子どもを対象としたイベント関連アンケート」については、有効回答数は目標値を下回っているが、プラス評価については、上回っている。「子どもを対象としたイベント関連アンケート」については、アンケートの実施方法などを再度検討いただきたい。</p> |  |  |
|  | <p>「自主事業の実施」<br/> ■enoco の収益性を高め、より充実した施設運営を可能とする財源の確保に努めているか。<br/> ■センター利用者の増加や、enoco の認知度向上に繋がるような事業内容に取り組んでいるか。</p> | <p>・R4年度大阪国際がんセンター 絵画の展示及び管理方法等監修業務<br/> ・6月19日「宇治茶監督 ゲキメーション制作体験ワークショップ」を自主事業として実施。<br/> 参加人数 大人：12名、子ども：3名</p>   | A | <p>・引き続き自主事業に取り組み、収益の増加や認知度向上に努められたい。</p> | A  | <p>・enoco の認知度向上は重要であり、現指定管理者の管理期間のみならず、その後も広がっていくよう、工夫していただきたい。</p> |  |

|                            |   |   |   |   |  |   |  |
|----------------------------|---|---|---|---|--|---|--|
|                            |   | <p>■センタースタッフへの接遇研修や人権研修等を実施し、来館者に対し丁寧な対応ができています。</p>  | <p>「クレーム、電話対応、障がい者、LGBTの方への対応」についての集合型研修を実施（7/11）。また、新たに雇用した職員に対しては、継続雇用者からOJT研修を実施するとともに、今までの利用規定やマニュアルを見直し、利用規定に変更があった際には、利用者に丁寧に説明を行った。</p>  | S | <p>・スタッフへの研修や来館者への丁寧な対応が行われている。引き続き利用者サービスの向上に務められたい。</p>  | A |  |
|                            | <p>(5) 施設の維持管理の内容、的確性及び実現の程度</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>点検・補修の的確性、迅速性</li> <li>定期点検の実施状況</li> <li>職員研修の実施回数・参加状況</li> </ul> | <p>■センターの維持管理、安全管理、補修等が的確、迅速に実施されているか。</p> <p>■防災・安全対策等について、危機管理体制を確立し、研修等を行い適切な対応ができる体制がとられているか。</p> <p>■定期点検を適切に実施できているか。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、適切な対応が行われているか。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>enocoの維持管理に必要な各種点検について、年間実施計画に基づいて予定通り実施している。</li> <li>現場責任者の下、緊急体制を整えて連絡網を整備し、危機管理体制を確立している。</li> <li>年2回消防訓練を実施。テナントも参加</li> <li>新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、業界団体等のガイドラインを参考に enoco 独自のガイドラインを作成し、施設利用者・来館者・イベント参加者・職員に周知徹底している。また、大阪府「コロナ感染拡大防止の取り組み」に変更があった場合 enoco ガイドラインも修正、変更をしている。</li> </ul> <p>特に、施設使用者に対しては、申込書と一緒に「イベント開催時のチェックリスト」を送付し確認、署名の徹底を図っている。また、受付カウンター等への飛散防止パネル等の設置、サーモカメラでの体温測定、各階の消毒液等ハード面での感染予防対策も行っている。</p>  | S | <p>・センターの維持管理や防災・安全対策、定期点検について適切に行われている。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についても適切に実施できている。</p>   | A |  |
|                            | <p>(6) 府施策との整合</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提案の実施状況</li> <li>就職困難者の雇用状況</li> <li>知的障がい者等の現場就業及び職場定着支援等の実施状況</li> </ul>        | <p>■府の実施する施策等と十分に連携し、効率的かつ効果的な運営を行っているか。</p> <p>■府の実施する事業への支援協力を積極的に行っているか。</p> <p>■知的障がい者の現場就業が実現できているか。</p> <p>■府が実施する福祉施策・環境施策等に取り組むように努めているか。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「大阪文化芸術創出プログラム2022」との連携（再掲）</li> </ul> <p>万博記念公園で開催された「EXPO PARKART&amp;MUSIC WEEKEND」の会場に「enoco」ブースを展開し下記ワークショップや enoco の歴史を VTR に纏め紹介するなどプロモーション活動を実施。</p> <p>万博記念公園 EXPO' 70 パビリオンでの「EXPO PARK ART&amp;MUSIC WEEKEND～アートから読み解く 1970 年代(70 年代アートの室内展示)」では、1970 年大阪万博前後に制作され、大阪府が所蔵する作品を厳選。関西の美術が盛り上がっていた潮流のトップアーティストの作品を選定して展示。また、当時のシティポップが流れる空間で作品鑑賞を通じ、1970 年代への思いを馳せて頂く演出をした。</p> <p>enoco での「1970：2025 過去と現代の対話展」では、大阪にゆかりのあるアーティストの作品とともに、1970 年大阪万博当時のトップアーティストによる作品を選定し展示し大阪らしい「現代美術」の魅力や 1970 年代当時のエネルギー溢れる作品を楽しんで頂いた。</p> <p>また、同時に開催した「ライブペイント展 from EXPO PARK ART&amp;MUSIC WEEKEND」では、大阪とゆかりのある個性豊かな 6 名のアーティストによるライブペイント作品を展示。作品は「70 年代遺産と現代のエネルギー」をテーマとし、2025 年大阪・関西万博への機運を感じられる展示とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>府政学習会 in enoco（広報広聴課との連携）（再掲）</li> </ul> <p>大阪府の庁舎や施設を見学するとともに、府の施策や取組みについて知って頂く「府政学習会」において、子ども対象に enoco の館内見学とワークショップを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「障がい福祉室 第 19 回ともに生きる障がい者展」との連携（再掲）</li> </ul> <p>障がい福祉室主催「第 19 回ともに生きる障がい者展」（堺市ビック・アイにて開催）で enoco 出張ワークショップ「Satoly Workshop～さわってわかるアート教室～」を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西大阪治水事務所管理施設（広場）「トコトコダンダン」活用及び近隣施設や地域の子どもたちと連携したイベント開催の検討（再掲）</li> <li>知的障がい者の現場就業については、就労時間が短い為、募集を行っているが実現おらず引き続き募集を行っている。</li> <li>7月11日職員研修後、引き続き、ペーパーレス化のメリット・デメリットについて説明</li> </ul> <p>事務所内でのペーパーレス化の方法について事例を添えて説明 各スタッフに周知、徹底を行った。</p> | B | <ul style="list-style-type: none"> <li>府が実施する様々な事業と連携し、展覧会やワークショップを実施できている。</li> <li>知的障がい者の現場雇用については、募集は行っているものの実現できていない。早急に雇用ができるよう努められたい。</li> <li>引続き、府が実施する福祉施策や環境施策等との連携に取り組んでいただきたい。</li> </ul> | C | <ul style="list-style-type: none"> <li>知的障がい者の雇用について、今年度と同様の内容で募集しているだけでは雇用につながらないので、募集内容を工夫されたい。</li> </ul>                         |
| <p>上にさらなるサービスの向上に関する事項</p> | <p>(1) 利用者満足度調査（アンケート調査）等</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート等による利用者の意見の把握</li> </ul>  | <p>■様々な方法でアンケートを実施しているか。また、収集した情報を分析し、フィードバックに努めているか。</p> <p>【目標値（再掲）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 100 以上。</li> <li>◇アンケートの結果 プラス評価 80%以上。</li> <li>◇貸館関連アンケート有効回答数 80 以上。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>多目的ルーム、展示室利用者や、ワークショップ、イベント参加者、来館者にアンケートを実施 特に自由記述のコメントには注意し、適宜運営に反映をしている。</li> </ul> <p>例</p> <p>（要望）大阪メトロ阿波座駅からの行き方がわからない。</p> <p>（対応）6月阿波座駅中改札口及び8番出口階段下に enoco の案内掲示板を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート方法は、フィードバックするために経年の変化が必要となるため従来の方法に準じ実施している。</li> </ul>   | S | <ul style="list-style-type: none"> <li>「主催展覧会関連アンケート」「貸館関連アンケート」「子どもを対象としたイベント関連アンケート」を実施している。アンケートの結果をまとめて、適宜運営に反映できるように努めている。</li> </ul>   | A | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果も活用し、来館者のバックグラウンドなどを分析するなど、目標値が達成できていない部分の改善方法を検討するとともに、次年度の改善に取り組んでいただきたい。</li> </ul> |

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   | <p>状況</p> <p>・アンケート結果等の運営への反映状況</p>   | <p>アンケートの結果 プラス評価 80%以上。</p> <p>◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数参加者の8割以上。</p> <p>アンケートの結果 プラス評価 80%以上</p> <p>【アンケート方法】</p> <p>ア 館内アンケートボックス（記述式のアンケートを情報コーナー、窓口等に設置）</p> <p>イ QRコードによるWEBアンケート</p> <p>ウ 窓口での聞き取り調査</p> <p>エ イベント等でのアンケートの実施</p> | <p>【実績値（再掲）】12月末現在（ ）内は、目標値）</p> <p>◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 214（100以上）達成率：214%</p> <p>アンケートの結果 プラス評価 93.4%(80%以上)</p> <p>◇貸館関連アンケート有効回答数 82（80以上）達成率：103%</p> <p>アンケートの結果 プラス評価 95.9%(80%以上)</p> <p>◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数 63%（参加者の8割以上）</p> <p>アンケートの結果 プラス評価 87%（80%以上）</p>  |   |   |   |   |
|   | <p>(2) その他創意工夫</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <p>・その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫</p> | <p>■その他、サービス向上につながる取組み、創意工夫に努めているか。</p>   | <p>「気軽に来館できる施設づくり」</p> <p>・地域の方々がよく集まる地下カフェ横スペースに「たいぞう」や「森本大百科」などよしもと所属アーティストの作品でオリジナル塗り絵を作成し来館のこどもたちにアートに触れ合う機会を創出している。</p> <p>また、60インチの大型モニターを設置し enoco の歴史や開催イベントを放映し紹介している。</p> <p>・利用者との日々の会話や貸室利用アンケートの中から意見やニーズを積極的に拾い、利用しやすい運営方法の改善に日々努めている。</p> <p>例：「提出書類が多くわかりにくい」との意見を受けて、ギャラリー内定者への送付書類の簡素化・注意事項をわかりやすくまとめた書式へ変更。→現状書類に関しての意見はなし。</p> <p>また、多目的ホール利用者には、複数件を予約する方が多い為、書類の変更をおこない「複数件用利用申込書」を作成し、利用者の手間の軽減とペーパーレス化を図っている。</p> <p>・多目的室(ルーム 6)の利用率が低い貸室の利用向上の為、①ESSAP(アーティスト・イン・レジデンス)での作家への制作場所提供や②こどもへの自習室(こども meet room)としての利用案内をし、場所の有効活用を行っている。また、こども meet room では、こどもたちが入りやすいように季節に応じたカレンダーのデザイン作成や案内板をカラフルにし、こどもの目線にあわせた工夫を行っている。</p> <p>・展示室貸館利用において、今年度より両面テープや釘、ビスなどの壁への使用を不可とした。代わりに、どのような展示方法があるのか、利用者一人一人と話し、展示物にたいして、どうアプローチをするかを例題としてサンプルをもとに提案をおこなっている。また、両面テープや釘、ビスなどの壁への使用を不可とすることにより展示室の壁を傷める事がなくなり、修復費の経費軽減に努めている。</p> | S | <p>・次年度以降も、来館者が増加するような仕掛けやサービス向上につながるような取組みを実施していただきたい。</p>                                   | A |   |
| <p>目適正な管理業務の遂行を図ることができ、能力及び財政基盤に関する事項</p> | <p>(1) 収支計画の内容、的確性及び実現の程度</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <p>・事業収支の計画に対する妥当性</p>      | <p>■収支計画どおりに適正に事業を実施しているか。</p> <p>【目標値】</p> <p>(収入)</p> <p>◇貸館収入：13,500千円</p> <p>◇事業収入(カフェ・物販除く)：2,700千円</p> <p>(支出)</p> <p>◇事業費(カフェ・物販除く)：4,550千円</p> <p>◇広告宣伝費：3,300千円</p> <p>※収支報告の際は、「所蔵作品活用事業費」と「主催・共催事業費」を個別に算出して報告すること。</p>        | <p>・貸館収入については、計画どおりに順調に推移している。</p> <p>【実績値】12月末現在（ ）内は、目標値）</p> <p>(収入)</p> <p>◇貸館収入：18,206千円（13,500千円）達成率：135%</p> <p>◇事業収入(カフェ・物販除く)：98千円（2,700千円）達成率：3.6%</p> <p>(支出)</p> <p>◇事業費(カフェ・物販除く)：4,517千円（4,550千円）消費率：99.3%</p> <p>◇広告宣伝費：1,642千円（3,300千円）消費率：49.8%</p> <p>【今年度(1月～3月)の貸館予約状況】</p> <p>(収入(予定))</p> <p>◇貸館収入；約4,600千円</p>   | A | <p>・貸館収入については、計画以上に収入を得られているが、収入に対して支出が多くなっている。次年度については、今年度の実績を精査し、収支計画を立て、事業を実施していただきたい。</p> | B | <p>・今年度は初年度でもあり、収支実績が予算と乖離している項目が多い。次年度については、今年度の実績を踏まえ、精査されたい。</p> |

|   |   |   |   |  |   |  |
|---|---|---|---|--|---|--|
| <p>(2) 安定的な運営が可能となる人的能力</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に必要な人員数の確保・配置</li> <li>・事業実施に必要な人材（要資格者や専門性・技術を要する職員等）の確保・配置</li> <li>・従事者への管理監督体制・責任体制</li> <li>・従事者への研修実施の状況</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業実施に必要な人員数の確保・運営体制・配置になっているか。</li> <li>■従事者への管理監督体制・責任体制は妥当であるか。</li> <li>■職員研修は十分に行われているか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリエイティブ分野に豊富な実績と人脈を有する人材として学芸員以外に自身もアーティストで美術大学の非常勤講師をしているスタッフを雇用しチラシの制作や事業企画などで力を発揮してもらっている。</li> <li>・開館時間内は、最低2名が事務所に勤務し、来館者対応が出来る体制を整えるとともに、すべての業務に関して職員・スタッフが相互に補完し合えるよう、マルチスタッフ化を図り運営をしている。</li> <li>・職員研修として人権研修、マナー研修を実施した。今年度内に消防訓練を実施予定。</li> </ul> | S | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に人員が不足している期間があった。常時、十分な人員を適切に配置できている体制を継続していただきたい。</li> <li>・次年度以降も職員研修を継続していただきたい。</li> </ul> | B |  |
| <p>(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤</p> <p>&lt;評価基準とすべき事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の経営状況</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■共同事業体の経営状況、経営規模、健全な財務状況等が確認できるか。（財務諸表により確認）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同事業体の経営状況、経営規模、財務状況は、施設運営を担う上で問題のない状況で安定している。</li> </ul>   | S | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な経営基盤を築いている。</li> </ul>   | A |  |

|   |   |
|---|---|
| <p>&lt;各項目評価の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S 計画を上回る優良な実施状況</li> <li>A 計画どおりの良好な実施状況</li> <li>B 計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況</li> <li>C 改善を要する実施状況</li> </ul> <p>&lt;年度評価の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S 項目ごとの評価のうちSが5割以上で、B・Cがない。</li> <li>A 項目ごとの評価のうちBが2割未満で、Cがない。</li> <li>B S・A・C以外</li> <li>C 項目ごとの評価のうちCが2割以上。又は、Cが2割未満であっても、文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合</li> </ul> | <p>&lt;総合評価(令和7年度)及び最終評価(令和8年度)の基準&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちSが5割以上で、B・Cがない。</li> <li>II 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちBが3割未満で、Cがない。</li> <li>III I・II・IV以外</li> <li>IV 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちCが5割以上。ただし、評価対象期間の後半、取組状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く。</li> </ul> <p>※ 総合評価がIVとなった場合には、次回の指定管理者選定時に減点措置を講じることとする。</p> |
|---|---|

年度評価： B

総合評価：  
(最終評価)

※ 総合評価は、最終年度の前年度(令和7年度)に実施。最終評価は、最終年度(令和8年度)に実施